

大学生の力を活用した 集落復興支援事業活動報告 -福島県古殿町にて-

立命館大学 総合心理学部
サトゼミ・エンタープライズ

恩田澄衣・藤澤沙衣



RITSUMEIKAN

立命館大学



概要

- 2018年8月、10月、12月に延べ10名が大阪府から古殿町を訪問し、**三株高原祭りの活性化をお手伝いすることにした**。12月に行った住民の皆さんとのディスカッションを通じて、①まつりのリニューアル、②町内小中学校との連携、③PRの工夫を次年度の実行課題として設定した。2017年の参加者が300名程度だったことを受け、**来場目標人数を600名とした**。
- 2019年5月の三株高原祭りにサトゼミエンタープライズ(学生9名、教員1名)が参加した。実行課題のうち、**チラシのリニューアル、子ども向けブースの出店などを実行することができた**。当日は500名超の参加者があり、参加者・関係者の満足度は高かった。

福島県古殿町と「やぶさめくん」



古殿町はチェーンソーアートでも有名



2018年8月13日
古殿町役場を訪問。風間副町長を表敬訪問



三株山を見渡すことができる展望台



町の宿泊施設・大網庵に宿泊



10月13, 14日 流鏝馬祭りにボランティア参加。



12月1, 2日

三株高原の視察・フィールドワーク・ディスカッション



2018年12月 住民ディスカッション

日時	平成30年12月1日
場所	下松川区構造改善センター
参加者	下松川区各種団体役員及び 古殿町職員 34名 立命館大学 4名
内容	三株高原のイベントや資源を 活用した誘客促進の取組につ いて

地元の人々のキーワード

- 変えたくない、変わりたくない
- 原発事故前の姿に戻りたい
- 今ある豊富な資源の活用
- 古殿の人に古殿の良さを伝えたい
- 継続性

提案① まつりのリニューアル

- チラシのデザインの修繕
- プログラムの一部リニューアル
 - 焼き肉コーナー:ファミリー割
 - 流鏝馬:流鏝馬体験(VR流鏝馬, チェーンソーアートの馬に乗って動く的を射る, 乗馬体験)
 - わらび取り:袋詰め放題 わらびの天ぷら
 - カラオケ大会:のど自慢大会
 - +Rブース:町内中学生と立命館大学生が協力してキッズコーナーを作る
- プログラムのタイムスケジュールの見直し
- 開催日を1週間早める(花見と同時開催)
- 来客者アンケートの実施

提案② 町内小中学校との連携

- 町内小中学校が学校行事としてまつりに参加
新学期のオリエンテーションとして
出し物の発表会として など
 - 小中学生に向けたPR
子ども→大人(家族)の誘客ルート
 - 中学生と立命館大学生の協働(+Rブース)
-
- ・継続的な参加 リピーターの獲得
 - ・町民が主体になれる

提案③ PRを工夫する

- 町内・県内のファミリー層に効果的な広告媒体を調査しPRを行う

新聞 ラジオ

ファミリー層に効果的なPRの内容は？

- 既存の広告のリニューアル

まとめ 三株高原まつり 2019の目標

現状

原発事故の影響で3年のブランク
参加者600人→300人に半減

目標

町内・県内のファミリー層を300人集める(参加者
600人)

2019年5月26日
三株高原祭り

福島県古殿町

2019年 三株高原祭りで実現したこと

- チラシの中身とデザインが生まれ変わった
- 下松川区協賛の軽食販売と吹き矢体験を行った
- 立命館大学が子ども向けブースを出店(ぬり絵、射的、コマ作り、玉入れ)
- フルスポのダンス発表会の出演者の人数が増えた
- 各プログラムにタイムスケジュールが設けられ、一連の流れができた
- 地元新聞3紙でまつりが告知された
- アンケート調査を企画した

三株高原祭りのチラシと上空からの俯瞰

三株山頂北側 三株山高原キャンプ場そば

三株高原まつり

！同時開催！
流鏝馬大会 春の陣
9:00~11:00
隣接開場 流鏝馬馬場
主催 流鏝馬大会実行委員会
(問合せ先 古殿町役場)

令和元年
5月26日 11:00 ~ 15:00 入場無料 (雨天決行)

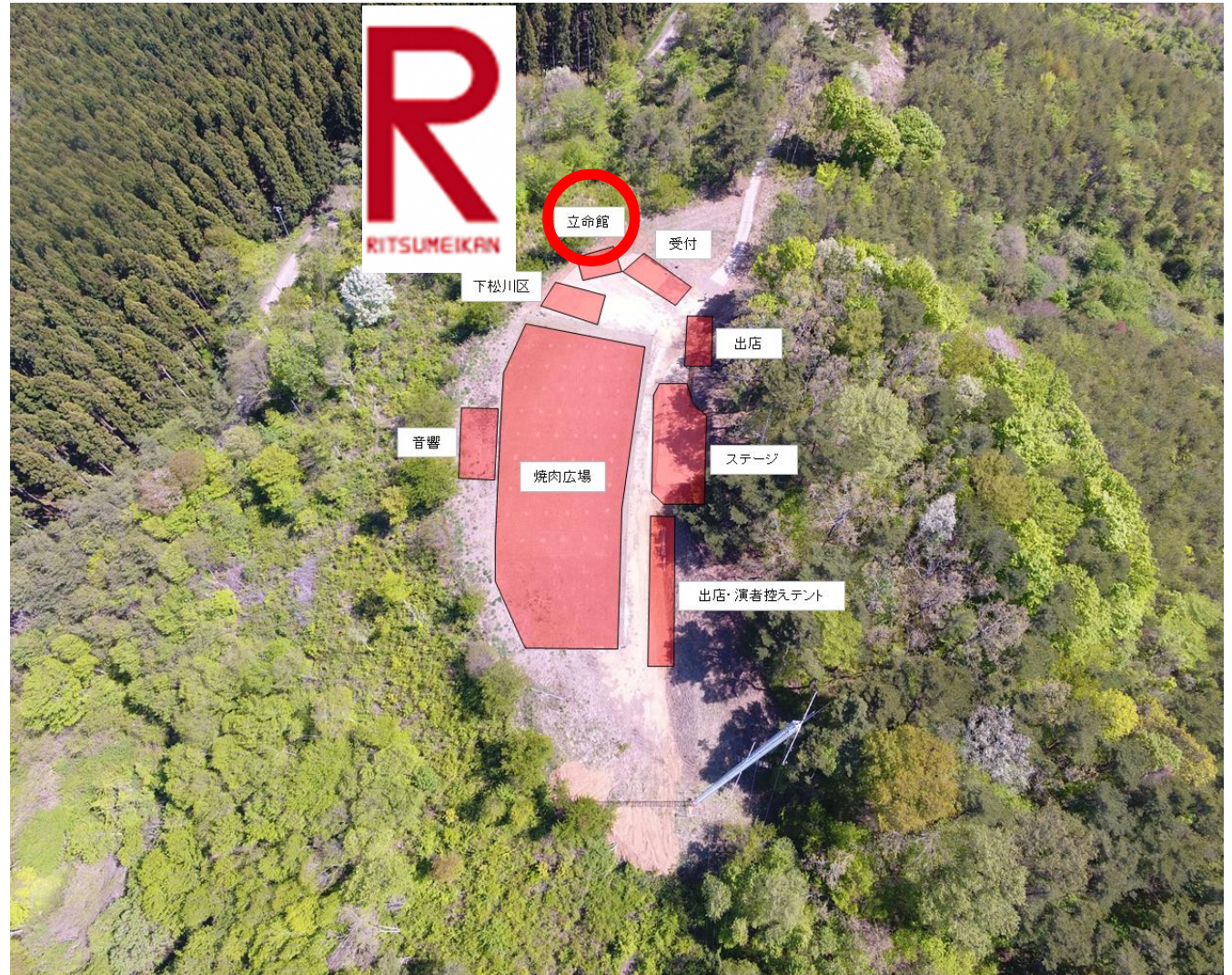
総合司会 田口清さんがお送りします
石川まさる・小町雪乃歌謡ショー
福島県出身のお二人による歌謡ショーのほか、地元スポーツ団体フリスポによるダンス披露等が行われます。

立命館大学が地域交流で出店！
焼肉セット販売・各種出店
手ぶらで楽しめる焼肉セットや、軽食・飲み物類の販売を行います。その他、流鏝馬にちなんだ吹き矢や、立命館大学の学生達によるふれあいブースを出展します。
※焼肉ブースは事前予約制の販売も行っています。

三株高原まつり会場（石川郡古殿町松川三株地内）

本事業は福島県『大学生の力を活用した集落復興支援事業』を活用して立命館大学の協賛を頂き、イベントを通じた地域の活性化を目的として実施します。

主催：農事組合法人 三株牧野組合 問合せ先：0247-53-2707（組合長）
協賛：下松川区・立命館大学・古殿町役場 後援：福島民報・福島民友・北部日報社



当日・ぬり絵が大人気！



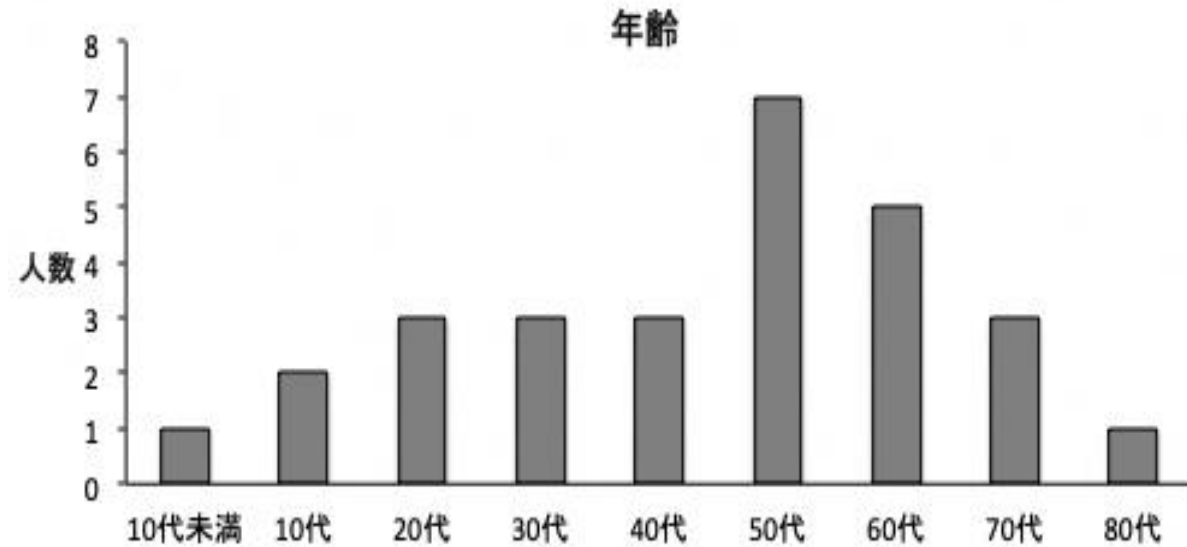
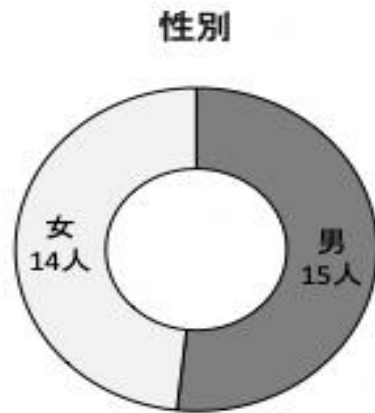
ゴミ入れ(空き缶入れ)ゲームも人気でした



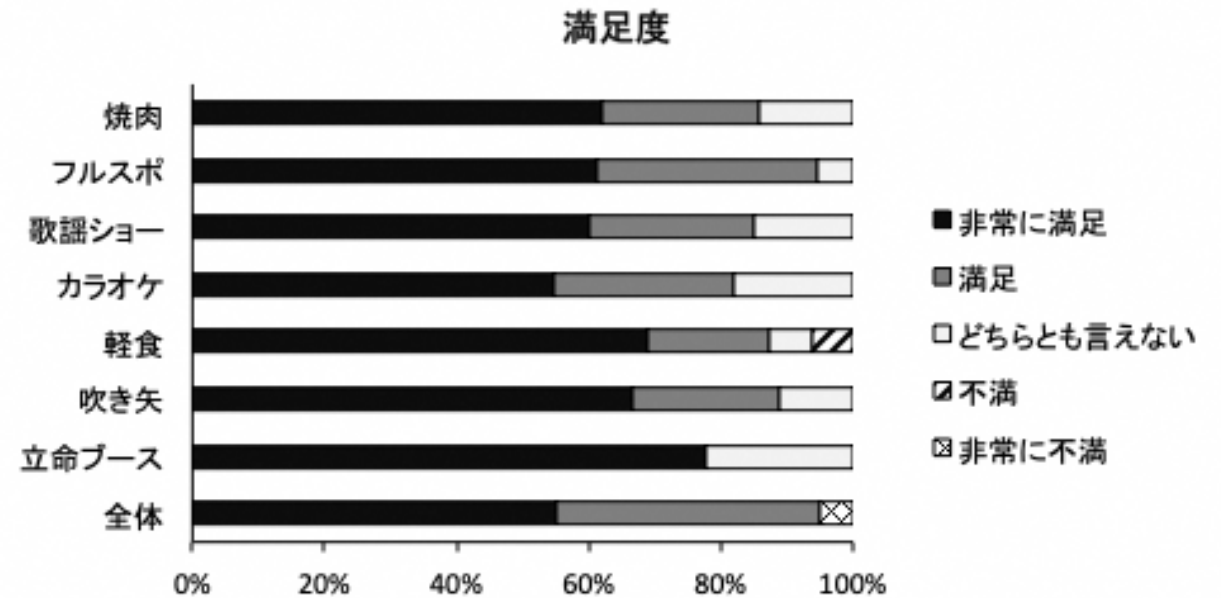
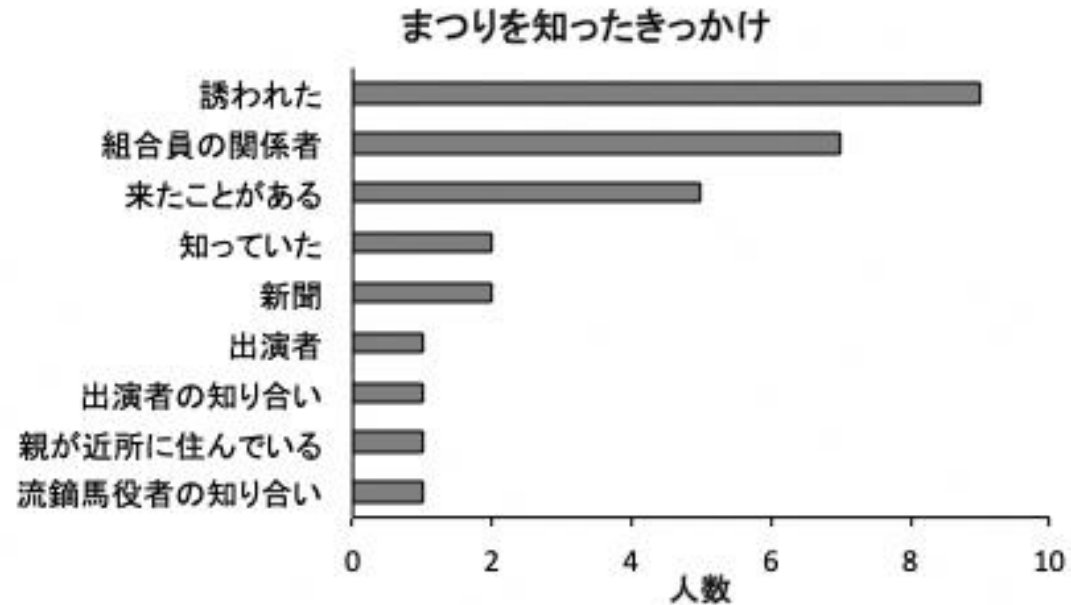
来場者数とアンケート等の結果

- 来場者数、計515名（前年比70%増）
- インタビュー調査
- 町職員「よかった」7名（77.8%）「どちらとも言えない」2名（22.2%）
- 牧野組合員「よかった」8名（100%）
- 「一昨年や昨年と比べて来場した方が多かったような気がした。特に子ども達が例年よりも楽しめるブースがあったため、良い雰囲気ですべて終わったのではないかと思った」

来場者アンケート(N=32)の結果



来場者アンケート



来場者アンケート:要望

- 子どもが遊べるものを増やした方が良い
- 昔ながらの伝統を取り入れる
- 肉だけじゃなく野菜も沢山付けてほしかった
- 日陰(屋根)
- 参加者欲しい 若い人
- 虫多い 県外の人もっと 若い人来ない 同じ人しか来ない PR少ない、弱い SNS ニュース インスタ 地域によって異なる 注目 コミュニティ小さい インバウンドも
- 車置くところ少ない

帰りの車と翌日の新聞



運転手以外
は寝てる！



福島民友

今後の展望

- 2020年度も三株高原祭りに参加。子ども向けに加えて中・高生向け企画も作りたい
- 可能であれば、立命館大学のブースを地元の中学生と一緒に運営したい(協力を要請)
- より大規模な調査の実施
- 自分たちが何かをするより、触媒として化学反応を起こすような存在になりたい。



ご清聴ありがとうございました

一昨日のミーティング



石と言えば、古殿町！
を全国に広めます！

